

平成31年度使用 茨城県第4採択地区 教科用図書の採択理由書

茨城県第4採択地区教科用図書選定協議会

会長 飯島 郁郎

教科	発行者の番号・略称 教科書名	事 由
理科	4・大日本図書 理 科 たのしい理科	○ 単元導入時に身近な自然の事物・現象を見開きの写真やイラストで紹介し、関心や意欲を喚起すると共に、自然を愛する心情を育てるよう配慮されている。また、自然事象に対する疑問を投げかける形で構成された文章を掲載し、児童の探求意欲を喚起するよう工夫されている。 ○ 「みつけよう（問題の発見、予想）」→「調べよう（計画、観察・実験）」→「まとめよう（考察）」という問題解決の道筋で構成されている。問題文の表現が児童に疑問をもたせる形で記され、調べようとする意欲が持続できるよう工夫されている。また、児童の思考の連続性が図られる構成となっている。 ○ 規則性をとらえやすくするために、「ものづくり」を設け、総合的に自然の事物・現象をとらえられるよう配慮されている。「学んだことを生かそう」では、既習事項を用いて発展的な問題解決を行えるようになっている。 実生活との関連を資料等で紹介したり、単元末の「学んだことを生かそう」で考えさせたりすることで、その有用性が実感できるよう配慮されている。 ○ 観察・実験器具の使い方については、観察・実験と同じ見開きに掲載されており、教科書の流れに沿って学習できるようになっている。 また、何度も使用する器具については、折り込みページに記載し、教科書を閉じても当該箇所はみられるよう工夫されている。

		○ 各学年とも単元の導入では、身近な自然の事物・現象を体験等との関わりを通して、児童自らが問題を発見し、予想、計画、観察・実験などの活動や、結果、考察、結論という学習の流れが分かりやすく、見通しをもって活動できるよう配慮されている。巻頭の「理科の学び方」には、学習指導要領に示された当該学年で学ぶべき内容がイラストで記されている。また、身につけるべき資質・能力も記されている。 ○ 単元の扉で、既習事項との関連が写真やイラストを利用して小見出しでまとめられている部分もある。植物教材においては、茨城県の生育状況に合った配列となっている。 ○ 巻末に各単元で学習した重要語句の定着を確認できるようチェックボックスと書き込み式の振り返りが配置されている。 ○ 複数の単元で使用する実験・観察器具の使用方法については折り込み資料として、活用しやすいよう配慮されている。 巻末には切り取り式の動物・植物シート（３年）、星座シート（４年）などがつけられており、授業での学習のみならず、自主的な学習の場でも活用できるものとなっている。
--	--	--